



西黒田ふれあいだより

～一人ひとりが共に楽しく、明るく喜びを重ねるまち西黒田～

令和 3 年度 通常総会(4/17 開催予定)の書面議決の結果は、97 号で掲載いたしましたが、
貴重なご質問やご意見を、多数頂きましたので、今号でご報告いたします。

議案第 1 号 令和 2 年度「西黒田ふるさと振興会議」事業報告並びに一般会計及び特別基金の決算承認について

議案第 2 号 令和 2 年度西黒田まちづくりセンター指定管理料会計の決算承認について

議案第 3 号 役員改選について

議案第 4 号 令和 3 年度「西黒田ふるさと振興会議」事業計画並びに一般会計予算について

議案第 5 号 令和 3 年度西黒田まちづくりセンター指定管理料会計の予算について

(※質問事項の中には誤字・脱字等が散見されましたが、訂正せずに掲載しています。ご了承ください。)



武田 了久さん (意見) 今般都合により理事を辞職させていただきます。多くの方々と長期間にわたり交友させて頂き感謝しております。西黒田地域は自然豊かな住みやすい里山集落です。若者が住みたい「まちづくり」に今後共尽力を是非お願いします。

(回答) 長きに渡り、西黒田ふるさと振興会議の運営にご尽力いただきありがとうございました。今後も引き続きご指導、ご協力をお願い申し上げます。

中尾 誠吾さん (質問) 新型コロナを機に現在の事業が必要とされているのか、不要なのか〇×等で単純に住民に問うてはどうか、歴史があっても見直しも良いと思うのですが。

(回答) 振興会議の事業について、〇×等で単純に住民に問いかける方法も考えられますが、現在、安全環境、体育文化、青少年健全育成、地区社協の 4 専門部会の事業計画立案にあたって①「将来残していかなければならない事業」②「休止止む無しの事業」③「見直しを必要とする事業」等に区分いただくなどゼロベースからの検討をお願いしているところです。また、2025 年問題が直前に迫ってきていることから、昨年 11 月にサポート会事務所を開設し、その事務所を兼ねる「きんたろう茶屋」を、サポーターの皆さんの協力を得て、この 4 月から週 3 日(火、木、土曜日) 開店しています。また、まちづくり研究会の月例会に加え、昨年から広報委員会ならびに西黒田防災会の設立準備会の月例会も開催されています。

(意見) 新型コロナが終息するまでは、各事業の実施は控えないと責任が取れない(人数制限や換気対策、ソーシャル 2m 以上間隔等が不十分で、ワクチン効果も人それぞれのため)

池野 友之さん (意見) コロナ禍の中、今年度のスポーツ関係行事は全て中止にすべきです。地域住民の生命を守ることが第一です。他の行事についても前年度以上の感染防止対策を検討して行うべきと考えます。親睦は本会の目的の一つであっても命には代えられません。

池野 泰共さん (質問) 各部会の行事は、ワクチン接種完了後に実施すべきと考える。

(回答) 新型コロナウイルスのインド型変異株の危険性(感染力、重症化率)が、従来型のものと比較して格段に高いと言われています。ご意見、ご質問のとおり前年度以上の感染防止対策を検討して事業実施に取り組んでいきます。ワクチン接種開始後は、ご質問のとおり新規感染者数に加え、ワクチン接種率が重要な判断基準になると考えます。

川村 良治さん (意見) 受動喫煙防止のため、2 種の施設であっても高齢者や子どもたちの健康増進や健全育成のうえからも敷地内禁煙としていただきたい。

(回答) 西黒田まちづくりセンターの敷地内禁煙については、昨年(令和 2 年) 4 月に全面施行となった健康増進法の趣旨にのっとり、再度理事会で協議させていただきます。

川村 啓人さん ※盆踊りは 8/14(土) 予定しております。

(回答) 大変失礼いたしました。事業計画の 8/15(日) を 8/14(土) に訂正し、お詫びいたします。

清水 宏昭さん (意見) 組織図について 体育文化部会にある「公民館サークル連協」を「サークル連絡協議会」としてはどうか

(回答) ご指摘ありがとうございます。ご指摘のとおり修正させていただきます。

清水 聖子さん (意見) このコロナ禍で、各事業が実施できなくなっているのは残念ですが、他の市での活動についても参考にされてはどうでしょうか

(回答) 昨年 11 月の文化祭においては、ビデオ収録した登録サークルの活動状況を、ステージ発表に代えてプロジェクターで放映しました。これは他団体を参考としました。また、「おうちでわんぱく学習塾」の実施については、検討会を開催し、皆さんからいただいたご意見をもとに実施させていただきました。今年度は、他の市での活動についてもアンテナを高くして参考にしていきたいと思います。



清水プランナー (意見) 夢基金にて使途事業活動を計画してほしい

(回答) 夢基金の活用については、金太郎子ども夢基金管理運営委員会規則(平成31年4月施行)に定める(1)金太郎相撲大会(2)わんぱく学習塾(コミュニケーション担当)(3)同(情報リテラシー担当)の各小委員会で検討していただきたいと思います。

辻森なつみさん (意見) コロナ禍で、まだまだ大変な時期なので、事業計画については、その都度検討していただきたいと思います。

(回答) 四半期ごとに事業計画の確認を行い、新型コロナウイルスの感染状況やワクチン接種状況を踏まえ事業実施を検討していきます。

池野 由喜さん (意見) 町内の蓮田にも協力をお願いします。

(回答) 西黒田地域の活性化のため、協力し合ってまいりたいと考えます。



長浜市消防団(第7分団) 中川 守さん (質問) 以下全ての項目の回答をを書面での公表としていただきますようお願いいたします。

第1号議案 報告事項について

①生活相談窓口設置されましたが、主な相談内容、年間件数を公表回答願います。

(回答) 令和2年度の生活相談のうち、きんたろうサポート会へつないだものが108件でした。その内訳は、交通手段(病院、開業医への通院や買い物等)に関するものが92件(75%)、自宅周りの葉刈り、除草や畑等の草刈りが11件(10%)、その他が5件(5%)でした。

令和2年度西黒田ふるさと振興会議 収支報告書

①歳出の部でプランナー諸業務費が521,050円増額していますがどのような理由からか明らかにし公表回答願います。
尚歳入の部からの交付金であれば内訳を公表回答願います。

(回答) 地域活力プランナーは、市長からの委嘱を受け、当振興会議と雇用契約を交わしています。振興会議は、市とプランナー設置業務委託契約を交わし、その労務管理、活動の監督、調整、支援等の義務を負っています。そこで振興会議では、今までから一貫してプランナーの業務内容の実態に応じて、長浜市、長浜市社会福祉協議会から受けている下記の(A)業務委託料、(B)一括交付金、(C)助成金等の特定財源を当て業務に当たっていただいています。521,050円については、R元年度予算に計上不足があったためです。



	(令和2年度決算額)	(令和3年度当初予算額)
(A) 地域活力プランナー設置業務委託料	1,238,400 円	1,238,400 円
(B) 地域づくり一括交付金 自治会あて文書引渡し業務	192,000 円	120,000 円
生活相談窓口設置業務	200,000 円	200,000 円
(C) 地区社協事務局運営費助成金	129,650 円	129,650 円
合 計	1,760,050 円	1,688,050 円

第2号議案 令和2年度まちづくりセンター指定管理料会計 決算報告書 歳出の部

1. 給料・職員手当等

①職員の定数について4名、他3名とありますが、センター所長、地域活力プランナーの公募は認識しておりますが、そのほかの職員採用はどのような手続きを経て雇用されるのいるのでしょうか公表回答願います。

(回答) センター所長、地域活力プランナー以外の4人の職員採用については、西黒田ふれあいだより第80号と89号で公募しております。ただ、職員の予定外の離職が重なったこともあり、その補充対応を令和2年4月18日に、「職員の採用試験および選考に関する規程」第2条に定める「職員選考委員会」を開催し協議いただき、5月16日開催の理事会において、その欠員補充と今後の事務局体制についてを承認いただいております。

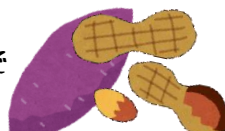
2. 燃料費

予算額と支出額が同額ですがどのように車両ガソリン代を管理されているのでしょうか公表回答願います。

(回答) 煩雑な現金の取扱いを避けるため、プリペイドカードにより給油を行っています。給油記録は、公用車使用日時と走行距離を記入している「車両管理簿」に記載して管理しています。プリペイドカードへの入金額は、ガソリン単価が最も安くなる2万円としています。

きんたろう農園ニュース その①

5月27日(水)、常喜千折の川村畑他では、鳴門金時・紅はるか・シルクスイート・安納芋、合計640本もの苗の定植を行いました。昨年のシルクスイートの焼き芋が思い出され、今からヨダレが出ると言っている職員がいました。また、本庄込田の進畑では、6月10日(木)に農高生により大粒落花生(おおまさり)の苗の定植も行われました。
今から秋の収穫が楽しみです。収穫後は、きんたろう茶屋で焼き芋販売を行います。お楽しみに!!



進畑(本庄込田)



長農園芸科野菜分野3年生による落花生の定植(6/10)

川村畑(常喜千折)



5/27に振興会議理事さんの協力を得て、さつま芋を定植しました。6/16活着したようです。



西黒田ふれあいだより

～一人ひとりが共に楽しく、明るく喜びを重ねるまち西黒田～

第4号議案 令和3年度西黒田ふるさと振興会議予算額

コロナ禍で感染収束しない状況での予算編成にもかかわらず令和2年度同様の項目予算額が散見され突出的な増額項目も伺えますがどのような裏付けで予算額を議論され立案されたのか経緯と理由を時系列又は議事録等で以下8項番(項目)について公表回答願います。

歳入の部

①補助費の 60,580 円減額ですが理由について個別具体的に公表回答願います。

(回答) 補助費の内訳は次のとおりです。

	(令和2年度決算額)	(令和3年度当初予算額)	(差し引き増減)
市青少年市民育成会議補助	80,000 円	80,000 円	0 円
きれいなまちづくりパートナーシップ補助	102,000 円	40,000 円	△62,000 円
長浜地区スポーツコミュニティクラブ補助	28,580 円	30,000 円	1,420 円
合 計	210,580 円	150,000 円	△60,580 円

減額の理由は、かねてから懸念事項となっていた不法投棄防止の防犯パトロールマグネットステッカー50枚(118,800円)を、令和2年度のきれいなまちづくりパートナーシップの補助を受けて購入したもので、令和2年度は例年より補助金が増額となりました。令和3年度は通年ベースに戻り 60,580 円の減額となりました。

②委託費の 15,000 円減額ですが増額(減額)の必要性について個別具体的に公表回答願います。

(回答) 委託料の 15,000 円の減額については、「学びと生涯学習のまちづくり推進事業委託料」が、市の方針により一律削減されたことにより、令和2年度 70,000 円であったものが、55,000 円となったことによるものです。

歳出の部

③地域振興費 20,000 円減額ですが減額の理由と内訳で消防7分団・西黒田防犯隊減額され西黒田きんたろうサポート会。まちづくり研究会・きんたろう会の増額されていますがどのような理由からでしょうか明らかにし公表回答願います。尚、助成金については西黒田ふるさと振興会議でどのような手続きで助成金予算額が決定されているのか明かし公表回答願います。

(回答) 西黒田ふるさと振興会議は、長浜市自治基本条例の基本理念に基づき、地域課題を解決しようとする地域づくり協議会です。西黒田の振興を地域課題とし、予算に地域団体活動助成を行うため地域振興費を計上し、14団体に総額 300,000 円(1団体平均約 20,000 円)の活動費助成を行ってきています。一方、消防7分団は、消防組織法に基づき国民の生命、身体及び財産を火災から保護することを任務とする特別職の地方公務員(非常勤)で構成されている法定組織です。従って、自らの会費で活動を行っている活動助成団体とはおのずから違うものの、地域の維持、振興には欠くべからざる団体であることから、振興会議が助成対象としている他の活動団体なみの助成額が妥当ではないかとの議論の中で、助成団体の中で 70,000 円でしたので、今年度暫定的に 50,000 円となったものです。また、増額となっているきんたろうサポート会は「ニーズの拡大」、まちづくり研究会は「月例会の実施」、きんたろう会は「御城印の販売開始等」の活動状況が勘案されたものです。

なお、令和3年度予算編成については、4月1日開催の予算編成会議に図り、4月10日開催の拡大理事会で承認いただいています。

④積立金 732,000 円については令和2年度決算額に計上されないまま令和3年に計上されてますがどのような経緯で予算額が計上されたのか明らかにし公表回答願います。

(回答) 西黒田地区は、平成28年にきんたろうサポート会が設立され、長浜市の中でも先行して2025年問題(高齢者対策)への取組みが進められています。しかし、少子化への取組みは、田根地区等と比較しますと遅れています。従って、はからずもコロナ禍のため事業ができず残った貴重な財源を、子ども夢基金に積み立てようとするものです。

因みに、地域づくり協議会が市から受けている(1)地域づくり交付金、(2)自治会振興交付金、(3)河川美化交付金、(4)資源ゴミ還元報奨金は、「均等割、自治会数割、世帯数割、住民数割」がベースとなっており、旧長浜市内の地域づくり協議会が受ける交付金等合計額は下記のとおりとなっています。振興会議では人口規模の小さい地域づくり協議会が負う財政的ハンデキャップを少しでも軽減するための一手段として積み立てたいと考えています。

長浜地区	4,955,700 円	南郷里地区	4,036,850 円	北郷里地区	1,945,160 円	神田地区	843,080 円
六荘地区	5,276,010 円	神照地区	7,065,950 円	西黒田地区	1,133,450 円		

⑤研修費 150,000 円は令和2年度実績が無いまま令和3年度同額計上されておりますが理由を明かし公表回答願います。

(回答) 令和2年度は毎年行っている先進地研修がコロナ禍のため行えなかったため、実績がありませんでしたが、令和3年度についてコロナウイルスの感染状況によっては中止すること考えられますが、先進地研修に行ける場合を想定して計上しております。

⑥備品購入費について昨年度より 201,420 円増額となっていますが焼き芋機などは備品購入せずに季節的なものであればリース等で経費節減すべきと考えますが誰がどのように購入必要とされ予算計上されたのかまた維持管理部会や通年利用率など精査されたのか公表回答願います。

(回答) 焼き芋機についてはテレビとともに、きんたろう茶屋(きんたろうサポート会事務所)の365日開店を目指していくために必要なものの一つとして、市の提案事業交付金(交付決定金額 504,000 円、交付決定通知令和3年4月1日付け)の対象経費にも算入してその財源確保に努めています。しかし、補助率が80%であるため、令和3年2月20日開催の新旧自治会長会に諮り了承をいただいています。

⑦自治会活動費について令和2年度 202,960 円令和3年度 203,000 円の記載で比較増減 0 円となっておりますがどうゆう理由でしょうか公表回答願います。

(回答) ご指摘ありがとうございます。比較増減欄の計算式が間違えておりました。大変申し訳ありませんでした。正しい金額に直したものを再度配布させていただきます。

⑧予備費 663,000 円前年度からの繰り越しの理由について明らかにし公表回答願います。

(回答) 予備費 663,000 円は、令和3年度の予算執行において予想外、想定外の事情が発生した場合に備えて予算計上しているものです。

第5議案 令和3年度まちづくりセンター指定管理料予算

①職員手当等 332,508 増額されておりますが理由を明らかにし公表回答願います。

(回答) ご承知のとおり、西黒田まちづくりセンターは、ふるさと振興会議が長浜市から指定管理者として指定を受けその管理、運営を担っています。従って、まちづくりセンターの職員とふるさと振興会議の役員の両者が協力して管理、運営に当たっています。然しながら、ふるさと振興会議の役員は非常勤ながらも無償ボランティアであることから、まちづくりセンターの運営にかかわる部分について、その手当の支給が必要と考えられることから増額となったものです。

②報償費について 令和2年度にも税理士謝礼として計上されておりましたが今年度もは計上されていますが令和3年度は税理士を依頼されるのでしょうか公表回答願います。

(回答) 令和2年度分の法人税は令和3年5月末までに納入することになります。また、消費税については令和4年3月末日までに、簡易課税または本算定かのいずれかの申告をする必要がありますことから、税理士への報償費発生に備えて令和3年度予算に計上しているものです。

意見 西黒田ふるさと振興会議への意見要望協議事項

駐車場管理について以下の2項目について

①駐車場西側進入禁止柱の解除鍵(予備)を消防団第7分団に借用頂き屯所に保管したい。(解放は消防活動、緊急時にのみ使用)

理由 近年自然災害の発生が増加傾向にある中、有事、緊急時に開放し消防活動、住民避難人命救助関わる事案等に迅速に対応するため。

②常に解放されるほうが住民サービスには有効ではないでしょうか。?

防犯上問題があるとの意見もありますが市内のコミュニティセンターでは開放されているところが多いのではないのでしょうか。

上記2点を西黒田ふるさと振興会議で議論をいただき、有効に活用できる西黒田コミュニティセンターにさせていただきますようお願いいたします。

(回答) いただきましたご意見については、西黒田ふるさと振興会議の理事会において協議させていただきます。

※ 長浜市消防団(第7分団)からの14の質問については、6月20日(日)に、説明させていただきます。

きんたろう農園ニュース その②

きんたろう農園①



まくわの定植(6/11)
本庄グリーンクラブの皆さん

きんたろう農園②



黒マルチ張り(6/10)
まくわの師匠 中川薫さん

今年1月に募集しました、金太郎まくわプロジェクト(1)(2)にご賛同いただきましたボランティアの方々(本庄グリーンクラブさん、清水宏昭さん、大久保眞尾さん)と、金太郎まくわの定植を6月11日(金)に行いました。

6月10日(木)朝7時～、金太郎まくわの師匠である、中川薫さんにトラクターで農園①②の黒マルチ張りをしていただき、翌11日(金)にいずれの農園も1時間足らずで225本のまくわ苗の定植をすることが出来ました。(農園①121本、農園②104本)今年もセンター内でまくわの直売が行われる予定です。皆さん、乞うご期待!!

